

## ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 ゲムシタビン/nab-パクリタキセル療法を施行した膵がん患者における副作用発現と治療継続に栄養状態が与える影響 ～Geriatric Nutritional Risk Index を指標とした研究～』

研究機関名 東邦大学薬学部

研究責任者 臨床薬剤学研究室 職位・氏名 講師・瀧川正紀

### 【試料・情報の利用目的】

取得した試料・情報は、ゲムシタビン/nab-パクリタキセル療法を施行する患者の栄養状態をGNRIによって評価し、副作用発現や治療継続に栄養状態関与するか検討する目的とした研究に利用します。

この研究で得られる成果は、ゲムシタビン/nab-パクリタキセル療法のより有効で安全な治療につながります。

### 【他機関への提供】

東邦大学薬学部に提供します。

### 【研究に用いられる試料・情報】

情報: 性別、年齢、身長、体重、診断名、膵がんに対する抗がん剤の治療歴・治療の状況、検査値、栄養状態 等

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

### 【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2014年4月～2024年9月に治療を受けた方の情報を利用します。データの利用開始は2024年10月からです。

### 【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

東邦大学医療センター佐倉病院 病院長 鈴木 啓悦

### 【試料・情報の取得方法】

対象者: 2014年4月～2024年9月までに東邦大学医療センター佐倉病院において、膵臓癌に対してゲムシタビン/nab-パクリタキセル療法を受けた方

方 法: 診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

### 【研究組織】

代表施設名: 東邦大学薬学部 研究代表者: 瀧川 正紀 役職: 講師

**【利用する者の範囲】**

瀧川 正紀(東邦大学薬学部臨床薬剤学研究室)  
三浦 千明(東邦大学薬学部臨床薬剤学研究室)  
木下 雅子(東邦大学薬学部臨床薬剤学研究室)  
増田 雅行(東邦大学薬学部臨床薬剤学研究室)  
佐藤 啓(東邦大学医療センター佐倉病院薬剤部)  
平井 成和(東邦大学医療センター佐倉病院薬剤部)  
土井 啓員(東邦大学医療センター佐倉病院薬剤部)  
木村 好伸(JCHO 埼玉メディカルセンター薬剤部)

**【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】**

東邦大学薬学部臨床薬剤学研究室 瀧川正紀

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2026年3月31日までに下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

**【連絡先および担当者】**

東邦大学医療センター佐倉病院薬剤部

職位・氏名 室長・佐藤 啓

電話 043-462-8811 内線 6375